

信貴山・龍田古道コース

レベル **中級者** 距離 **約13km** 所要時間(目安) **5~6時間**

名所・スポット 駅 寺院 神社 万葉歌碑 トイレ コンビニ 200m

奈良県景観資産とは奈良県内のすばらしい眺望を望むことができる場所です。

日本遺産 葛城修験 『葛城修験』一里人(さとびと)とともに守り伝える修験道はじまりの地』構成文化財

日本遺産 龍田古道・亀の瀬 『もう、すべらせない!!~龍田古道の心臓部「亀の瀬」を越えてゆけ~』構成文化財

のんびり歩くもよし、アクティブに過ごすもよし

奈良時代に平城京と河内、難波を結び、大和に入る玄関口として利用されていた龍田古道は紅葉で有名です。古からの風情を楽しみのんびり歩くもよし、キャンプ場やバンジージャンプでアクティブに過ごすもよし。



日本遺産「龍田古道・亀の瀬『もう、すべらせない!!~龍田古道の心臓部「亀の瀬」を越えてゆけ~』」

「亀の瀬」、それは奈良と大阪の国境に位置し、奈良盆地の水を一手に集める渓谷地帯。ここは、4万年前から地すべりが繰り返されてきた難所でありながら、古代より都の西の玄関口として交通・経済・治水を支えてきた心臓部です。万葉びとが歌に詠み、文物の往来によって発展を遂げた「龍田古道」は、地すべりの恐怖と隣り合わせにありました。古代からこれまで、人々は都の最新技術を結集させてこの要衝地を守り、龍田の風の神がその歴史と常とともにあったのです。龍田の風を肌を感じながら古道を歩いてみましょう。土砂に埋もれた鉄道トンネルを覗き、未来の暮らしを支える土木技術に触れ、いざ亀の瀬を越えたとき、自然の驚異と寄り添い暮らす日本人ならではの心のありようが見えてきます。

夕されば 雁の越えゆく 龍田山
時雨に競ひ 色づきにけり 作者未詳

龍田山 見つつ越え来し 桜花
散りか過ぎなむ 我が帰るとに 大伴家持

おすすめスポット

1 龍田大社 日本遺産
龍田古道の信仰上の中心となる社。天武天皇の御世に都の西を司る国家的な風神として祀られました。紅葉のスポットとしても有名です。



2 三室山 日本遺産
現在の展望台を通る道は龍田古道の山間部を抜ける分岐ルートの一つで、展望台からは、大和平野を一望できます。



3 龍田古道の里山公園 (スマイルランド)
自然体験学習施設では、デイキャンプやオーバーナイトキャンプをお楽しみいただけます。



4 開運橋
開運橋は上路カンチレバー橋として、現存する最古の橋で、平成19年に国の登録有形文化財に登録されました。景色の良い開運橋からバンジージャンプをお楽しみください。

